

自殺対策 悲しみの受容

～宗教者に何ができるか？

宗教者に何を求めるのか？～

主催：仙台グリーンケア研究会

日時／2010年2月11日(木・祝)

場所／ホテルモントレ仙台

内容／年間自殺者3万人の日本の現実。宗教者はこの現状をどう捉えているのか。
宗教者が自殺対策として、何ができるのか？何が求められているのか？

【スケジュール】

13:00 開場

13:15 やなせなな ミニコンサート開演(裏面参照)

14:30 休憩

14:45 基調講演 藤澤克己師「自死(自殺)という“いのち”の問題に向き合う」

15:15 パネルディスカッション「宗教者に何ができるか？宗教者に何を求めるのか？」

コーディネーター：奥野昭典師

講演1：袴田俊英師

講演2：藤崎義宣師

講演3：氏家鴻堂師

16:15 討議・質疑応答

17:00 閉会

【講師プロフィール】

◇藤澤克己師(ふじさわ かつみ)

自殺対策に取り組む僧侶の会 代表・浄土真宗本願寺派安楽寺 住職

浄土真宗本願寺派東京教区基幹運動推進委員会・自死問題専門委員

1961年生まれ、神奈川県出身、早稲田大学第一文学部卒業。ITエンジニアとして約20年間のサラリーマン勤めをした後、自殺対策のNPO活動に従事。また、電話相談員としても、自殺したいほど辛いという相談者の気持ちに寄り添う活動を行っている。2007年5月、東京近郊の僧侶有志と「自殺対策に取り組む僧侶の会」を立ち上げ、代表に就任。

◇袴田俊英師(はかまだ しゅんえい)

秋田県北秋田市藤里町月宗寺住職(曹洞宗)「こころと命を考える市民の会(自殺予防の会)」代表 ビハーラ代表

昭和33年9月16日 能代市生まれ 駒沢大学仏教学部仏教学科卒業 2003年コーヒーサロン「よってたもれ」赤提灯「よってたもれ」を開店し、自殺対策の輪を広げている。

◇氏家鴻堂師(うじいえこうどう)

栗原市一迫城皇寺住職(曹洞宗)「命と心を考える市民の会」代表

増加しつつある栗原市内での自殺対策に地域共同体の再生という視点で活動始める。

◇藤崎義宣師(ふじさき よしのぶ)

日本基督教団久が原教会牧師。臨床心理士

NPO法人CMCC(キリスト教メンタルケアセンター)副理事長 スーパーバイザー

京都YMCA相談室での心理相談、カウンセリング活動を行っている。

◇奥野昭典師(おくの しょうてん)

石巻市広洲寺住職(曹洞宗) 曹洞宗宮城県布教師協議会理事

元宮城県曹洞宗青年会会長 元サンタピアップボランティア会会長

やなせ なな 生と死を見つめる癒しの歌

～大切な人との絆を振り返るひととき～



やなせ なな

やなせ なな
シンガーソングライター
浄土真宗本願寺派僧侶(法名・釈妙華)

1975年 奈良県内の寺院に生まれる。
1999年 龍谷大学文学部真宗学科卒。
2004年 5月 シングル『帰ろう。』でデビュー。
美しいメロディと、やわらかくも芯のある歌声が持ち味。
30歳で子宮体ガンを克服した経験と、尼僧という立場からの視点で、
生と死を見つめるメッセージ性の強いドキュメンタリータッチの歌を数多く制作。
大人のための癒しの音楽として、幅広い層から確かな支持を得ている。
ライブハウスやコンサートホールでも演奏活動の他、ホスピス、
福祉施設、学校等での歌とトークの会を行い、中でも2004年からスタートした
寺院コンサートは全国各地で成功を収め、口コミでその数を増やし続けている。

【主催】仙台グリーンケア研究会

【共催】藍の会・仙台青葉学院短期大学・日本産業カウンセラー協会・ふくしまれんげの会・自殺対策リボン委員会

【後援】宮城県・仙台市・宮城県医師会・東北文化学園大学・宮城県宗教法人連絡協議会・曹洞宗宮城県宗務所・

曹洞宗宮城県布教師協議会・仙台仏教会・仙台弁護士会・宮城県司法書士会・河北新報・朝日新聞仙台総局・

産経新聞社東北総局・日刊工業新聞社仙台総局・毎日新聞仙台支局・読売新聞東北総局・NHK仙台放送局・

KHB東日本放送・仙台放送・TBC東北放送・ミヤギテレビ・仙台商工会議所

【お問い合わせ】

TEL: 080-3326-5612(高橋聡美) FAX: 022-369-8012

Mail: info.jishi@gmail.com HP: <http://www.jishisympo.com/>

【シンポジウム事務局】

〒984-0022 仙台市若林区五橋三丁目5番75号 仙台青葉学院短期大学看護学科

